

令和7年度 学校評価

白子町立白子中学校  
校長 渡邊 友美

評価の項目	今年度の重点目標	具体的取組	評価の観点	成果と課題	対策
教育課程・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の推進</li> <li>○読書活動の充実と基礎学力の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育実践プログラムの実施及び外部講師による特別授業等の実施</li> <li>○読書及び基礎的な問題演習の時間の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸取組の活動及びその振り返りの分析</li> <li>○朝の活動における取組及び図書室の利用状況・改装進捗状況</li> <li>○生徒・保護者アンケートの調査結果の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸取組を実施したことで進路にむけた意識の高揚が見られた。OBによる講演等の安定的な人材確保に課題が残る。</li> <li>○図書館司書による図書室の充実が図られ、本に親しみ、手にする機会が増えた。一方、理数系の習熟度に課題が残る。</li> <li>○生徒・保護者アンケートの「家庭での会話(進路)に関する項目」において概ね高評の回答となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者も対象にし、広くOB人材の確保に努める。</li> <li>○学習相談の形態を改善し、個に応じたきめ細かな指導、個別最適な学びの充実を図る。</li> <li>○情報発信の頻度を上げ、諸取組を家庭まで落とし込み、学校と家庭による相乗効果を図る。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的生活習慣の指導の充実</li> <li>○教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導計画等を原則とした全職員による同一歩調での指導</li> <li>○人間関係を構築した上での共感的理解・指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒・保護者アンケートの調査結果の分析</li> <li>○日常の相談及びいじめアンケート、教育相談・アンケート状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒・保護者アンケートの「基本的生活習慣に関する項目」において概ね高評の回答となった。生徒主体の校則検討委員会も順調に進んでいる。</li> <li>○日常の相談及び計画されているアンケート、教育相談を着実に実施した。アンケート項目の形骸化について課題が残る。また、不登校生徒について個に応じた対応を講じる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より一層の生徒会活動の充実等、自治、自律を促進する。</li> <li>○アンケート項目をより具体的に改善し、「いじめ見逃し0」に努める。</li> <li>○不登校生徒個々に寄り添い、共感的理解と受容の姿勢を持ち、生徒の自己肯定感を高める。</li> </ul>

<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人のニーズに応じた適切な支援</li> <li>○研修の推進及び校内支援体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の実態を把握し、支援の在り方を検討</li> <li>○コーディネーターを中心とした特別支援委員会の弾力的な運用及び情報交換を密にした支援・指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合意形成を経た、個別の教育支援計画及び個別の指導計画作成及びその進行状況</li> <li>○研修及び校内支援体制等の整備及び運営状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年度初めに合理的配慮の希望の有無を確認し、合意形成を図りながら個に応じて支援・指導を行っている。</li> <li>○様々な教科担当が関わる本校の特色的取組の中、定期的に現状の情報交換及び支援・指導の方向性を確認している。一方、校内研修等を実施しているが、指導者の育成及び専門性の向上等に今後の課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一部に焦点を当てた支援・指導にとどまらず、卒業後等、先を見通した一層丁寧な面談等に努める。</li> <li>○引き続き、様々な教科担当が情報交換を密にしながらかかわる。また、アンテナを高くし最新の支援・指導法についての研修を全教職員を対象に実施する。</li> </ul>
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○確実な安全点検の実施</li> <li>○保健に関する定期的な研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月、複数の目で見、触って、負荷をかけての安全点検</li> <li>○応急処置の実技及び共通理解を図る研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒・保護者アンケートの調査結果の分析</li> <li>○安全点検による改修記録</li> <li>○保健に関する研修の運営における、計画・実行・評価・改善の進捗状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒・保護者アンケートの「安全に関する項目」において概ね高評の回答となった。</li> <li>○安全点検において、月毎に担当者を変え、新鮮な目で実施し、改修を必要とする箇所について記録・修繕を行った。</li> <li>○実践的な研修及び未然防止策を積み重ね、大きな事故等は無かった。</li> <li>○登下校における自転車の乗り方に課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、修繕が必要な箇所について適時の把握、即時の修繕を行う。</li> <li>○安全点検簿の項目を適時更新し、新たな危険の防止・対応に努める。</li> <li>○登下校に関する対応について、地域との連携を強化する取組を進める。</li> </ul>
<p>学校関係者評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の取組は良いと思う。日常的に本に親しむきっかけとなっている。</li> <li>・生徒・保護者アンケートにおいて、生徒と保護者の回答に乖離が見られる項目があり、生徒は学校での活動をあまり保護者に話していないのではと思う。学校ホームページや各種たより等、学校からの発信力の向上に期待したい。また、その手段として紙媒体での配付が良いのか、メールでの送信が良いのか、検討してもらいたい。</li> <li>・生徒指導面は時代の流れもあるが、登下校や参観日等に生徒の様子を見ても気になったことはない。生徒主体の校則検討委員会は良い取組だと思うので、今後も継続してもらいたい。</li> <li>・自転車の乗り方で気になる場面を見かけたことが何度かある。2026年4月1日からは、自転車も交通反則通告制度が開始されるので、関係諸機関と密に連携を取ってもらいたい。</li> </ul>				